

# 『いのちをつなぐということ～看取りの現場に想う』

本年7月に神奈川県相模原の障害者支援施設で極めて凄惨な殺傷事件が発生し、19人が亡くなり、26人が重軽傷を負いました。今なお多くの人が苦しんでいます。

障害のあるなしにかかわらず「一人ひとりの命」について想う機会を持ち、地域の中で支え合うことができる社会づくりに向けて考えるきっかけになればと、講演会を企画いたしました。様々な「看取り」の現場を取材されてきた写真家の國森康弘氏に、写真と言葉で語っていただきます。

多数のご参加をお待ちしております。



『いのちつぐ「みとりびと」』第1巻『恋ちゃんはじめでの看取り』より

## 【講師】

國森 康弘 氏

## 【日時】

平成28年

11月30日(水)

13:30～15:45

## 【受付】

13:00～

## 【入場】

無料(要事前申し込み)

定員 400名

- ・定員になり次第お断りする場合があります

## 【場所】

京都市西文化会館

ウエスティ ホール

〒615-8225 京都市西京区

上桂森下町31番地の1



【講師】國森康弘氏

## 申込み・問い合わせ

裏面をご参照の上、11月22日(火)までにお申し込みください

京都市西部障害者地域生活支援センター「らくさい」

Tel 075-335-0063 Fax 075-331-1612

Email [center-rakusai@sogofukushi.jp](mailto:center-rakusai@sogofukushi.jp)

主催：京都市西部障害者地域自立支援協議会

國森 康弘氏プロフィール

1974 年生まれ。

神戸新聞社記者を経てイラク戦争を機に独立。イラク、ソマリア、スーダン、ウガンダ、ブルキナファソ、ケニア、カンボジアなどの紛争地や経済貧困地域を回り、国内では、戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者たちの取材を重ねてきた。命の有限性と継承性がテーマ。近年では滋賀県東近江市永源寺地域をはじめ滋賀県や東北被災地、東京などで看取り、在宅医療、地域まるごとケアの撮影に力を入れている。NHKハートネットTVでも取り上げられる。京都大経済学研究科修士課程修了、英カーディフ大ジャーナリズム学部修士課程修了。

<主な受賞歴>

2012 年度けんぷち絵本の里大賞を受賞

滋賀・永源寺地域を舞台にした写真絵本シリーズ『いのちつぐ「みとりびと」第1集』（農文協、4巻）

2011 年度上野彦馬賞グランプリ、コニカミノルタ・フォトプレミオ2010

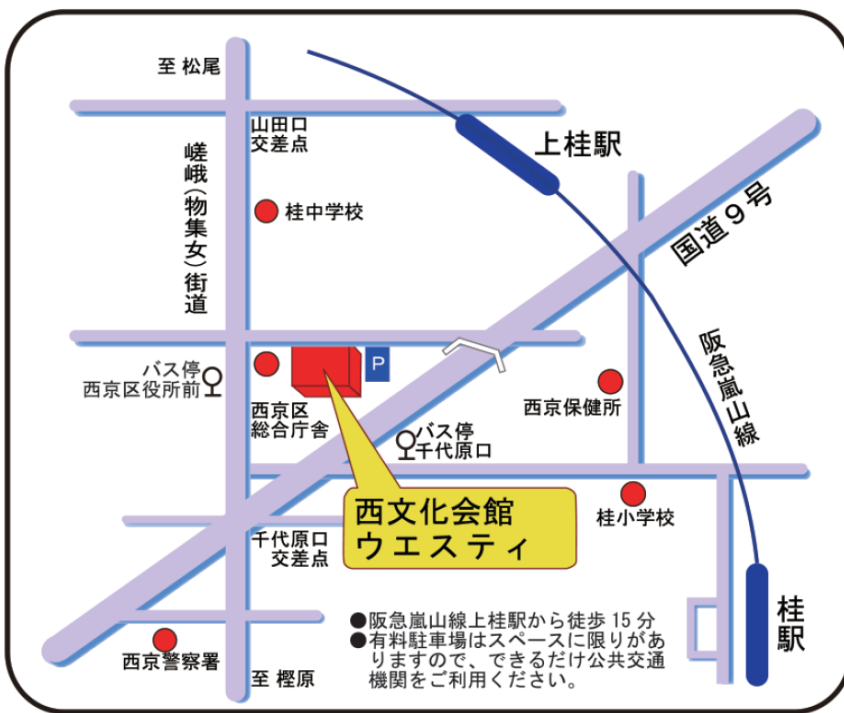
ナショナルジオグラフィック国際写真コンテスト2009 日本版優秀賞など

<主な関連著書>

『いのちつぐ「みとりびと」第2集』（農文協、4巻）

『生きることが光になるー重症児者福祉と入所施設の未来を考える』（共著）（クリエイツかもがわ）

『ご飯が食べられなくなったらどうしますか?～ 永源寺の地域まるごとケア』（農文協、花戸貴司医師との共著）など多数。最新刊は『アンネのバラ 40 年間つないできた平和のバトン（世の中への扉）』（講談社）



京都市西文化会館ウエスティ  
〒615-8225 京都市西京区  
上桂森下町 31 番地の 1

駐車場（有料）はスペースに限りがありますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。  
電車 阪急嵐山線 上桂駅から徒歩 15 分  
バス 京都市バス  
「西京区役所前」（嵯峨街道）下車約 2 分（29・69 系統）  
「平和台町」（国道 9 号）下車約 5 分（73 系統）  
「千代原口」（国道 9 号）下車約 10 分（73 系統）  
京阪京都交通バス  
「千代原口」（国道 9 号）下車約 10 分

FAX 075-331-1612

『いのちをつなぐということ～看取りの現場に想う』への参加を申し込みます

ご所属	
参加者名（代表者のみ）	
参加者数	名
ご連絡先（電話等）	

\* 障害等のことで配慮が必要な方は事前にお申し出ください

手話通訳が必要な方は手配の関係上、11/16（水）までにご連絡をお願い致します

- 車椅子使用 ( ) 名       手話通訳要 ( ) 名  
 その他 ( ) ( ) 名